

平成28年度事業計画

■事務局経営戦略課

1 複数館を利用した事業の推進

当協会が教育文化6施設の管理運営を行っているメリットを生かし、協会として積極的に複数の施設を利用した公益性の高い事業を実施する。

事業名	内容	実施時期等
【新規】 1日こども館長事業	科学・自然・歴史・文化に興味関心をもち、将来の職業選択のきっかけづくりを行なうことを目的に、各施設において小学生を対象とした職場体験を実施する。	8月～1月 (計6回)
子どものための 音楽会事業	乳幼児とその保護者に生の音楽を身近に感じてもらうことを目的に、各施設において乳幼児とその保護者を対象としたコンサートを実施する。各施設年1～2回の実施。	5月～3月 (月1回・ 計10回)
学習目的による 施設利用推進事業	学習目的による各施設の利用促進を目的に、「授業支援プログラム」を利用した校外授業を行う学校には、貸切バスで各施設への送迎を行う。併せて、小中学校の学習指導要領と各施設の展示物を関連付けた学校利用ガイドブックと施設利用ガイドポスターを活用した「授業支援プログラム」の周知を図る。 また、学習指導要領の改定を見据えた学校利用ガイドブック改訂をするための調査研究を行う。	通 年 (バス利用 による施設 利用は、11 月～3月)

2 広報活動の強化

各館のイベント開催情報を取りまとめ、一括して提供を行うとともに、教育・文化・芸術などに関する様々な話題も提供することで、協会全体の広報を強化する。

事業名	内容	実施時期等
機関誌「まなぶんか」 発行业	イベント開催情報の掲載だけではなく、科学・歴史・自然・文化・教育等の視点によるトピックスや催事内容を利用者に詳しく紹介する協会機関誌を刊行することで、施設利用者増へ繋げる。	年4回

3 地域への貢献

地域資源の再発見や、出前授業やアウトリーチを行うことにより、地域活性化に貢献する。

事業名	内 容	実施時期等
回想法による 福祉連携推進事業	福祉分野や地域との連携推進を目的に、地域の方々から寄贈された昔の生活用品等を用いた「回想法貸し出しセット」を活用し、福祉施設を対象にしたキット貸し出しや、出前授業を実施する。	通 年
地域ミュージアム化 構想推進事業	地域の施設として地域活性化に貢献することを目的に、地域資源の再発見や顕彰をするための企画を実施し、「地域が一つのミュージアム」となるような事業展開を図る。	通 年
出前授業等事業	教育文化施設として各施設が地域の教育支援に貢献することを目的に、出前授業や各種講座を希望のあった学校や地域で実施する。	通 年

4 その他

事業名	内 容	実施時期等
協会モニター事業	施設利用者の意見を施設運営や事業に反映させることを目的に、協会モニターを公募し、各施設のモニタリングや意見交換会（年2回）を実施する。	通 年
研究事業	学術及び科学技術、文化及び芸術の振興を図り、豊かな人間性と創造性を備えた人材の育成と文化の香り豊かなまちづくりに寄与することを目的に、協会職員に10万円以内の研究事業費を支給する。 また、成果については、協会内で研究発表会を実施するとともに、研究報告書としてまとめ、関係機関等に配付する。	通 年
経営戦略研究旅費	学術及び科学技術、文化及び芸術の振興を図るとともに、指定管理者として専門性を有し、安定的な経営基盤を構築することを目的に、協会職員が専門的、技術的な事項を経営戦略的観点から調査研究及び視察を実施する旅費を支給する。	通 年

■宮崎科学技術館

基本方針

宮崎科学技術館は、宮崎市制60周年記念事業として、明日を担う子どもたちに「科学する心」と「創造性」を培う場を提供するために開設された施設である。昭和62年8月の当館開設以来、一貫して充実した施設・設備を活用した管理運営に努めてきた。特に近年、障がい者や高齢者の利用も増え、利用者は、幼児から高齢者までの幅広いものとなっており、これら利用者の多様なニーズを踏まえた、満足度の高い管理運営に努めている。

そこで、今後さらに市民から信頼されるよう、次の3つの基本方針のもと、継続的・発展的な管理運営を行っていく。

- | | |
|---------|-------------------------------------|
| 〈基本方針1〉 | 明日を担う子どもたちに、「科学する心」と「創造性」を培う場を提供する。 |
| 〈基本方針2〉 | 地域に愛され、宮崎の人づくり・まちづくりに貢献する。 |
| 〈基本方針3〉 | 生涯教育の拠点として、魅力あるサービスを提供する。 |

事業概要

1 常設展示事業

常に展示物の安全管理と安定的稼働を念頭に置き、利用者が体験を通して科学の原理原則を発見・体得できるような展示配置や解説に努める。

2 教室事業

科学実験や工作、パソコン、天文等各種の教室を実施し、利用者の科学への興味・関心の高揚を図るとともに、市民ニーズにも対応した事業展開に努める。

3 プラネタリウム事業

全天周の投映システムを生かし、幅広い年齢層に応じた番組や小・中学校の学習番組の投映に加え、各種コンサートの実施など、世界最大級の大きさを誇るプラネタリウムの一層の活用に努める。

4 イベント事業

当館の開設の趣旨にふさわしい各種イベントの一層の充実を図り、科学に親しむ機会や環境問題、エネルギー問題などを身近に感じてもらう機会の創出・提供に努める。

5 人的ネットワークの一層の連携強化による事業展開

小・中学校、高校、大学、企業やJSC(ジョイフル・サイエンス・クラブ)などの関係団体との更なる連携強化による一層の事業展開に努める。

6 その他

宮崎市の多様な教育施設の活用を含め、新規事業を付加し、館の情報提供や友の会への勧誘など、施設の有効活用や館の利用者拡大に努める。

1 常設展示事業

来館者が、約100点の常設展示物による遊びや体験を通して、科学の不思議に気づき、体得できるように努める。また、科学技術館公式アプリを運用し、展示解説の充実を図る。

2 教室事業

(1) 科学実験・工作教室

幼児、小・中学生を中心に、多様な入館者を対象とした科学実験や工作等の教室を実施する。

No.	教室名	対象	回数	定員
1	チャレンジサイエンス	入館者	30回	なし
2	不思議なサイエンスショー	入館者	10回	なし
3	なんでもサイエンス ※スペシャルサイエンスショー2回を含む	入館者	20回	なし
4	ダ・ヴィンチ工房	小4～中3	6回	各20人
5	自由研究サポート教室	小・中学生	3回	20人
6	生きがい科学館	一般	8回	各20人
7	科学技術週間工作教室	小3～小6	2回	各80人
8	宮崎少年少女発明クラブ	小4～中3	20回	30人
9	コスモランド・ロボットクラブ(前期) 〃 (後期)	小5・6 小4・5	10回 10回	16人 16人
10	コスモランド教室	園児	11回	各240人
11	出張科学実験教室 (アウトリーチ)	小・中学生	3回	各40人
12	コスモランドサイエンスラボ	小学生	随時	なし

(2) パソコン講座

小・中学生から一般を対象に、パソコンに対する興味・関心を高め、パソコンの基礎知識と基本操作を身につける講座を実施する。

No.	教室名	対象	回数	定員
1	はがき作成講座	一般	2日×4回	各16人
2	パワーポイント講座	一般	4日×2回	各16人
3	パソコン入門講座	一般	7日×5回	各16人
4	ワード講座	一般	7日×5回	各16人
5	続ワード講座	一般	3日×5回	各16人
6	ワード応用講座	一般	7日×2回	各16人
7	エクセル講座	一般	7日×5回	各16人
8	続エクセル講座	一般	3日×5回	各16人
9	エクセル応用講座	一般	7日×2回	各16人
10	友の会パソコン講座	友の会対象	16回	各16人
11	すいすいパソコン	小・中学生～一般	26回	—

(3) 天文教室

幼児から一般を対象に、プラネタリウムホールを活用した、星座の学習や星座にまつわる楽しい神話等の解説を通して、天文に関する知識の普及を行い、興味・関心を高める。

No.	教 室 名	対 象	回 数	定 員
1	星空教室	幼児～大人	11回	各80人
2	中秋の名月大観望会	幼児～大人	1回	約300人
3	スターウォッチング教室(アウトリーチ)	団 体	5回	各30～150人程度
4	天体観望会(天ヶ城歴史民族資料館)	幼児～大人	1回	約300人

(4) プラネタリウム学習教室

プラネタリウムホールで、小学4、6年生、中学3年生を対象に、学校で学習する天体運動の学習を補充、深化できるような授業を行う。さらに、天文分野の学習に困難を感じている子どもたちへの理解を深める機会とし、天文に関する興味・関心を高め、知識の普及を行う。

No.	教 室 名	対 象	回 数	定 員
1	プラネタリウム学習教室①	小学4年生	2回	約280人
2	プラネタリウム学習教室②	小学6年生	2回	約280人
3	プラネタリウム学習教室③	中学3年生	1回	約280人

3 プラネタリウム事業

星や星座、天体現象に関する解説を行い、各種番組を充実させることで、天文・宇宙科学に対する認識を深めてもらうとともに、宇宙への夢とロマンを提供する。

また、全天周投映システムの特性を生かしたプラネタリウムでしか味わえないコンサートを実施することで、世界最大級の大きさを誇るプラネタリウムホールの有効活用を図る。

(1) 番組投映

① 学習番組

対 象 区 分	番 組 名
幼児	「オズの魔法つかい」(永)「むしむし星空大行進」(永)
小学生	「スタジオ444」(永) [小4] 「ポワンとフーニャンの宇宙調査隊」(永) [小6]
中学生	「この空に願いをこめて…」(永) [中3]

② 一般番組

対 象 区 分	番 組 名
ファミリー	「ポケットモンスターXY」「ナットのスペースアドベンチャー」 「おじやる丸 銀河がマロを呼んでいる」「ドラえもん 宇宙不思議大探検2」 「新番組①」「新番組②」「新番組③」「新番組④」 「今夜、銀河の片隅で」(永)「星になったチロ」(永)

※(永)＝永久投映権を有する番組

③ 自主制作番組

「ひむか神話 ～太陽の女神・アマテラス～」

(2) コンサート

コ ン サ ー ト 名		対 象	期 日
みんなでキラキラ 星空コンサート	(こどもの日)	幼 児～一般	5 月 5 日 (木)
	(七夕まつり)	幼 児～一般	7 月 2 日 (土)
星空と音楽のタベ 【2回開催】	(Part 1 1 2)	中学生～一般	9 月 1 0 日 (土)
	(Part 1 1 3)	中学生～一般	1 2 月 3 日 (土)

(3) その他

イベント名	内 容	期 日
星空散歩プラネタリウム (旧イブニングプラネタリウム)	50分間の星空生解説を行い、たっぷりと星座等の世界に浸ってもらう。解説後はミニ観望会を行う。	不定期 【5回】

4 イベント事業

あらゆる世代を対象に、科学に関する興味・関心を高めるイベントや環境問題など、社会の変化に対応した身近なテーマを取り上げた各種イベントを主催や共催により行う。

(1) 主催事業

No.	イベント名	内 容	期 日
1	サイエンスカフェ	科学者と市民をつなぎ、科学的により正しい判断ができる市民を育成するために、科学の専門家と市民が集える場所を設け、科学の有用性を周知する。また、中心市街地活性化にも寄与するイベントの実施を行う。	通年 【3回】
2	ゴールデンウィークイベント	鯉のぼりを正面玄関付近に設置するとともに、サイエンスショーや工作教室等を実施する。子どもたちに科学に親しんでもらうために、こどもの日は全館入館無料とする。	4 月 2 9 日 (金) ～ 5 月 5 日 (木) 【6日間】
3	第8回 地球を守ろう！ 環境展	環境問題を解決するための科学技術に関する展示会や実験教室等を実施することにより、環境問題への関心を高め、科学技術への理解を深める。	5 月 2 1 日 (土) ～ 6 月 5 日 (日) 【13日間】
4	【新規】 プラネタリウム 学習教室	小学4、6年生、中学3年生を対象に、学校で学習した天体運動の学習を補充、深化できるような授業を行う。	小学4、6年生2回 中学 3年生1回 【5日間】
5	【新規】 宮崎科学技術館 ボランティア育成事業	施設ボランティアを育成するために、他の科学館等のボランティアの状況等について視察研修などを行う。	期日未定 【1日間】

No.	イベント名	内 容	期 日
6	感謝のつどい ・七夕まつり	七夕まつりをテーマに、七夕にちなんだ工作教室などのイベントや、七夕に関するプラネタリウム番組を放映する。市民への感謝の気持ちを込め全館入館無料とする。	7月 3日（日） 【1日間】
7	「命の科学」フェア 医学体験ゾーン 「なるほど! なっとく! 人体の科学」 防災体験ゾーン 「なるほど! なっとく! 防災の科学」	「医学」と「防災」の2面から、「命」について科学的、体験的に考えることができる場を提供する。「医学体験」を通して、自分の体を知り、健康への意識を高める。また、「防災体験」を通して、災害への認識を深め、防災意識の高揚及びその啓発を図る。	7月24日（日） 【1日間】
8	南極クイズラリー 南極の氷贈呈式 & 実験ショー	国立極地研究所の協力により南極の氷を贈呈してもらい、自然環境を考えるきっかけにするため、南極にまつわる展示や簡単な実験をする。	7月30日（土） 【1日間】 ※実験ショーは夏休み期間中の数日間
9	青少年のための科学の祭典2016宮崎大会	科学や科学技術の不思議さや楽しさを身近に体験できる実験ブースを多数用意し、面白さと不思議さを通して科学や科学技術に対する興味・関心を深める。 ※プラネタリウムを除いて入館無料	8月 5日（金） ～7日（日） 【3日間】
10	スターフェスティバル	市民への天文活動の普及啓発を目的として、星の写真パネルやビデオ紹介などを行う。	8月11日（木） ～28日（日） 【17日間】
11	科学技術館シルバーdays	高齢者を敬い、また高齢者と家族が楽しく過ごす場を提供するため、65歳以上の方及びその同伴家族の方全員を入場無料にする。	9月17日（土） ～19日（月） 【3日間】
12	第7回 JSCフェスティバル	科学技術館シルバーdays にあわせて、JSCの活動の様子を、実験ショーや写真・作品展示で紹介する。	9月17日（土） ～19日（月） 【3日間】
13	JSC視察研修	JSC会員対象に、視察研修を実施する。	10月21日（金） 【1日間】
14	ナイトミュージアム	テーマに合わせた夜間ならではの館内演出とプログラムを通して、館の面白さの再発見と、科学や科学技術に対する興味・関心を深める。	10月29日（土） 【1日間】

No.	イベント名	内 容	期 日
15	第23回 宇宙画作品展	県内の小中学校から宇宙に関するテーマにそった絵画を募集し、その入選作品を展示する。11月20日（日）には表彰式を行う。	11月 9日（水） ～11月23日（水） 【13日間】
16	【新規】 企画展「（仮）光のイリュージョン展」	最先端技術を活用した光についての展示を行い、参加体験型の企画展を実施する。	2月 4日（土） ～19日（日） 【14日間】
17	教員のための 博物館の日	宮崎県総合博物館等と連携し、教員を対象に、博学連携の取組について周知していく。	期日未定 【1日間】
18	各種団体助成事業	助成団体：WRO Japan 2016 宮崎大会実行委員会 レゴブロックを用いて、課題に応じた自律型のロボットをつくり、競技会を行う。小・中・高等学校別に競技を行い、優勝者は全国大会に出場する。	8月上旬 【1日間】
		助成団体：宮崎少年少女発明クラブ 小・中学生に創作活動の場を提供し、科学的な興味・関心を高めるとともに、ものづくりの喜びを体得させる。	年間を通して20回
		助成団体：JSC（ジョイフル・サイエンス・クラブ） 当館で実施する各種イベントやサイエンスショーなどに協力し、科学する青少年の育成及び生涯学習に寄与することを目的とする団体である。	随時

（2）共催事業

No.	イベント名	内 容	期 日
1	航空教室 （航空大学校主催）	小・中学生を対象に、空を飛ぶことについての正しい知識を持ってもらうことを通して、航空思想の普及啓発を図る。	7月23日（土） 1月28日（土） 【2日間】
2	宮崎県発明くふう展 （宮崎県発明協会主催）	創造力に富む人材の育成と発明の奨励を図るとともに、その実用化を促進し、科学技術に対する意識の高揚と本県工業の発展に寄与する。	10月14日（金） ～16日（日） 【3日間】

No.	イベント名	内 容	期 日
3	宮崎ミニ水族館 (宮崎大学農学部海洋 生物環境学科主催)	宮崎の海に生息している生物の水槽 や標本、パネル等を展示して、海洋環 境や生物への興味・関心を高める。	10月21日(金) ～23日(日) 【3日間】
4	宮崎市中学校毛筆展 (宮崎市中学校書写部会主催)	宮崎市の中学生による毛筆の作品を 展示し、中学生や関係者の科学館利用 を図る。	11月 1日(火) ～11月 6日(日) 【5日間】
5	県特別支援学校アート展 (宮崎県特別支援学校 アート展事務局主催)	県内の特別支援学校の児童生徒によ る作品を展示して、子どもたちの作品 展示の場を提供する。	11月30日(水) ～12月 4日(日) 【5日間】
6	宮崎地区サイエンス コンクール展 (みやざきの科学教育推進 事業実行委員会主催)	宮崎地区(1市2町)の小・中学生、 高校生の理科の自由研究に関する作品 展を行うことを通して、科学技術への 興味・関心を高める。	12月10日(土) ～25日(日) 【14日間】
7	宮崎市中学校硬筆展 (宮崎市中学校書写部会主催)	宮崎市の中学生による硬筆の作品を 展示し、中学生や関係者の科学館利用 を図る。	1月12日(木) ～22日(日) 【10日間】

5 人的ネットワークの一層の連携強化による事業展開

- (1) 小・中学校、高校、大学、企業との連携を通して、展示事業や各種イベント等の充実を図るとともに、相互補完体制を築き、子どもたちの「科学する心」や「創造性」を育むよう努める。
- (2) 「JSC(ジョイフル・サイエンス・クラブ)」との連携を通して、教室事業等の一層の充実を図るとともに、アウトリーチ活動も積極的に展開する。
- (3) 天文愛好者との連携による天文教室や天体観望会、各種コンサートの開催等を通じて市民の天文科学への興味・関心を深め、同時に、世界最大級のプラネタリウムの積極的な活用を図る。
- (4) 宮崎科学技術館運営ボランティア、宮崎大学(各工作教室開催日における教育研修生の派遣等)との連携により、来館者への案内サービスの向上に努める。

6 その他

- (1) 広報の充実
ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービスを有効活用し広報の充実に努める。
- (2) 売店事業の円滑な運営
来館者へのサービス向上を図るため、売店の円滑な運営・充実に努める。
- (3) 他館との連携
宮崎市天ヶ城歴史民族資料館などと共同で、イベントにあわせた天体観望会を実施する。

■宮崎市歴史資料館

基本方針

協会が管理する宮崎市歴史資料館は、みやざき歴史文化館、宮崎市佐土原歴史資料館及び宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館の3館である。

みやざき歴史文化館は、歴史、民俗、神話等に関する資料の収集、保管、展示のほか、子どもたちや市民に郷土の歴史、伝統文化、神話等に接する機会と場所を提供するため、平成4年に市制60周年記念事業の一つとして蓮ヶ池史跡公園に建設された。また、宮崎市佐土原歴史資料館は鶴松館（平成5年開館）・佐土原出土文化財管理センター（平成7年開館）・商家資料館「旧阪本家」（平成13年開館）から成り、佐土原地区の歴史や文化等を紹介するとともに、資料の保管・研究のために建設された。そして、宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館は、平成5年に高岡地区の桜の名所、天ヶ城公園内にオープンし、高岡地域の文化遺産（歴史・考古・民俗）を保管・展示している。

そこで、「宮崎市歴史資料館3館」として、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するために事業を展開していき、管理運営の基本方針を次の3つとする。

〈基本方針1〉子どもをはじめ広く市民を対象に、柔軟かつ適切な公益事業を実施する。

〈基本方針2〉地域の歴史文化の拠点施設としての役割を推進する。

〈基本方針3〉効果的かつ効率的な施設運営に努める。

事業概要

1 常設展示事業

各館の歴史的背景、地域の特色等を踏まえ、従前の展示物の入れ替えや、解説方法を工夫するなど、利用者が宮崎の考古・歴史、民俗・民俗芸能、日向神話等を楽しく学習する場を提供する。

2 企画展示事業

地域特性も考慮しながら、その年度に応じた収蔵資料を公開する。また様々な年齢層に興味を持っていただく内容の特別展を企画する。

3 講座事業

専門家による古文書講座や歴史文化講座、地域の人材による田畑での農耕体験学習、学習指導員等による体験学習など幅広く学べる内容とする。

4 イベント事業

みやざき歴史文化館の鎧・兜の試着等による「こどもの日イベント」、夏の特別展関連イベント等をはじめとして利用者ニーズを踏まえた内容とする。

5 その他

資料の寄贈・寄託や調査研究により収蔵資料の充実を図るとともに、地域の歴史文化の情報拠点として、宮崎市歴史資料館のホームページやフェイスブックの活用、協会全体で発行する機関誌等により情報を発信していく。また、年報・研究紀要の充実を図る。

■みやざき歴史文化館

1 展示事業

(1) 常設展示

宮崎の考古・歴史、民俗・民俗芸能、神話の世界に関する資料を展示し、見て、触れて、楽しく学びながら歴史や文化に対する関心と理解を深める。

(2) 企画展示

宮崎の歴史・文化に関連する資料を収集、調査研究し、1階展示ホールや2階展示ホール、ギャラリーを利用して展示する。

No.	企画展示名	内 容	期 日
1	企画展① 「歴史文化館のあゆみ展」	27年度に実施した各種体験学習等の様子をパネルで紹介する。	4月16日 ～5月8日
2	【新規】企画展② 「今昔白黒写真帖」	昔懐かしい宮崎の風景を映した白黒写真パネルを紹介する。	5月21日 ～6月19日
3	【新規】企画展③ 夏の企画展 「子どものための夏休み自由研究みやざきのれきし・ふしぎ」	宮崎市域の歴史・民俗を子ども向けに楽しく紹介し、自由研究に活用できる展示・解説をする。	7月16日 ～9月4日
4	【新規】企画展④ 秋の企画展 「名所見聞展」	江戸時代の旅行ガイドブック『名所図会』や近代の観光絵葉書などを展示し、旅・観光の歴史や当時の景観などを紹介する。	10月15日 ～12月11日
5	【新規】企画展⑤ 「宮崎の神社散歩」	宮崎市域の神社の由来や日向神話のエピソードを紹介する。	11月5日 ～12月25日
6	【新規】企画展⑥ 「収蔵品展」	近年寄贈を受けた資料を中心とした収蔵資料の公開を行う。	1月28日 ～3月20日

2 講座事業

No.	講 座 名	内 容	回数	定 員
1	歴史文化講座	主に宮崎の歴史事象や歴史上の人物を取り扱った内容、民俗・民俗芸能に関する内容の講座を開設する。	5回	各30名
2	古文書講座	中級程度の内容で年間15回開催する。	15回	各30名
3	歴史探訪	宮崎市及び宮崎市近郊にある史跡や文化財の見学をする。 9月17日、10月29日、11月26日、 12月17日、3月11日	5回	各20名

3 体験学習

昔から行われてきた農耕体験学習、昔の人々の暮らしと関連した製作体験学習を実施する。
体験学習講座の意義をひとつの文化の伝承であると捉え実施する。

No.	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	期 日
1	ネイチャーゲーム	史跡公園内で自然を体感しながら様々な遊びをする。	2回	子どもと保護者 一般 30名	4月17日 10月16日
2	農耕体験学習	さつまいもを栽培し、収穫した芋で焼き芋を作る。	4回	子どもと保護者 50名	5月15日 5月22日 7月23日 10月9日
3	竹を使ったおもちゃ作り	竹馬などを作る。	1回	子どもと保護者 30名	5月29日
4	けん玉作り	竹でけん玉を作って遊ぶ。	2回	子どもと保護者 30名	6月12日 9月18日
5	まが玉作り	滑石の教材でまが玉作りをする。	2回	子どもと保護者 30名	6月26日 3月12日
6	釣竿を作って魚を釣ろう	竹の枝を落とし、油を抜いて釣竿を作り、その竿で魚を釣る。	2回	子どもと保護者 40名	7月17日 7月24日
7	水鉄砲作り	竹で水鉄砲を作る。	1回	子どもと保護者 30名	8月 7日
8	土器作り	縄文土器を作る。	1回	子どもと保護者 20名	8月20日
9	藍染のハンカチを作ろう	ハンカチを藍で染める。	2回	子どもと保護者 25名	10月16日 3月 5日
10	どんぐりを使ったおもちゃ作り	館周辺のどんぐりを使って、やじろべえなどのおもちゃを作る。	1回	子どもと保護者 30名	11月6日
11	伝統凧づくり	伝統凧を作り広場で揚げる。	1回	子どもと保護者 30名	11月20日
12	松ぼっくりでクリスマスツリーを作ろう	史跡公園内の松ぼっくりを使って、クリスマスツリーを作る。	1回	子どもと保護者 30名	11月27日
13	歴史館の餅つき	臼や杵を使用して餅をつく。	1回	子どもと保護者 50名	12月4日
14	ミニ門松づくり	正月用のミニ門松を作る。	1回	子どもと保護者 40名	12月11日
15	しめ縄づくり	正月用のしめ縄を作る。	1回	子どもと保護者 30名	12月18日
16	オリジナル埴輪作り	模型を参考にして粘土で埴輪を作る。	1回	子どもと保護者 30名	1月22日
17	羽釜でご飯炊き	かまどと羽釜でご飯を炊く。	1回	子どもと保護者 30名	1月29日
18	粉挽き体験	石臼を使って、粉挽き体験をする。	1回	子どもと保護者 30名	2月19日
19	おひなさまを作る	身近な材料を使って雛人形を作る。	1回	子どもと保護者 30名	2月26日

4 イベント事業

イベント名	内 容	期 日
こどもの日イベント	5月3日～5日の3日間に、鎧・兜の試着、野点、ウォークラリー、竹細工、紙兜作り、メンコ作り、まが玉作り等を行う。	5月3日 ～5月5日
おもちゃ病院	壊れたおもちゃを無料で修理する。	8月28日
夏休みイベント	夏休み期間中に「魚のつかみ取り」、「史跡公園生き物採集教室」などを実施する。	7月31日 8月 6日 8月21日
歴史文化館 春のイベント	まが玉作りや竹の工作、野点等を行う。	3月18日 ～3月19日

5 その他

(1) 日向神話普及推進事業

記紀編さん1300年記念事業の一環として「日向神話かるた」を作成し、貴重な文化的・歴史的資源である日向神話を見つめ直す契機とする。

(2) 資料収集・調査研究

歴史資料や文化財の写真収集・調査研究を行い、資料の充実を図る。

(3) 資料の保存・保管

日常的に虫菌害対策を行い、薬害等のリスクの高い薬剤燻蒸の規模の縮小を図る。

併せて24時間の温湿度管理を行い、記録データを常に監視しながら歴史資料の保存・展示に適した環境作りに努める。

(4) 出前講座・授業

学芸員による地域や各学校に出向いての歴史講座や学習指導員による竹細工作りなどの出前講座を、年間を通じて実施する。

(5) 他館との連携

大淀川学習館との事業連携や歴史3館内での連携により横断的に業務を推進する。

(6) 年報・研究紀要の発行

みやざき歴史文化館・宮崎市佐土原歴史資料館・宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館の平成28年度事業概要及び、調査研究成果をまとめた「宮崎市歴史資料館年報及び研究紀要」を発行する。

(7) 広報の充実

館の行事案内やホームページ、市広報の遊・学・感（レジャー&カルチャー）などを有効活用し、来館者増加に努める。

■宮崎市佐土原歴史資料館

1 展示事業

(1) 常設展示

佐土原地域の考古・歴史（特に佐土原藩）民俗・民俗芸能に関する資料を展示し、楽しく

学びながら歴史や文化に対する関心と理解を深める。

(2) 企画展示

佐土原地域の歴史・文化・民俗に関連する資料を収集、借用し、鶴松館展示室や大広間、出土文化財管理センター、商家資料館等を利用して展示する。

No.	企画展示名	内 容	期 日
1	【新規】 (仮)佐土原人形展	佐土原人形(五月人形・ひな人形)及び他の地域の人形も一部展示し、伝統工芸品としての意識を高める。	4月23日 ～5月22日
2	【新規】 (仮)収蔵品展	当館には多くの寄贈品や寄託品を所蔵しているが、その内今までの企画展等の活用頻度が低かったものを中心に展示する。	7月2日 ～9月4日
3	【新規】 (仮)幕末～維新期の佐土原	幕末期における佐土原藩の志士達の業績を展示し、同藩が果たした事跡を周知する。	11月5日 ～1月22日

2 講座事業

No.	講 座 名	内 容	回数	定 員
1	歴史文化講座	主に宮崎、佐土原の歴史事象や歴史上の人物を取り扱った内容や民俗・民俗芸能に関する内容の講座を開設する。	5回	各30名
2	古文書講座	江戸期の古文書を初級から中級程度の内容で8回実施する。	8回	各20名
3	史跡探訪会 文化財探訪バスツアー	佐土原を中心に宮崎市及び県内の史跡や文化財の見学を実施し、文化財に対する知識と愛護意識の高揚を図る。 史跡探訪会(第1回) 9月25日 史跡探訪会(第2回) 10月23日 史跡探訪会(第3回) 11月6日 文化財探訪バスツアー 11月27日	4回	各20名～ 25名

3 体験学習

昔の人々の暮らしと関連した製作体験学習等を親子や一般参加者を対象に実施する。

No.	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	期 日
1	山城探検	山城でウォーキングを行いながらネイチャーゲームなど自然と親しむ。	1回	一般及び親子 30名	4月24日
2	生け花体験	鶴松館生け花ボランティアの会指導のもと、生け花体験を行う。	1回	一般20名	6月12日
3	佐土原人形絵付け	人形店の指導のもと、人形の半製品に絵付けを行う。	2回	一般及び親子 各25名	7月10日 及び2月5日

No.	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	期 日
4	うずら車絵付け	県伝統工芸士の指導のもと郷土玩具のうずら車に絵付けを行う。	1回	一般及び親子 20名	7月24日
5	水鉄砲と鶯笛作り	鶯笛などめずらしい遊具を親子で作る。	1回	一般及び親子 20名	8月21日
6	竹とんぼ作り	子ども達に竹とんぼ作りを体験させる。	1回	一般及び親子 20名	8月28日
7	乗馬体験	大型動物との触れ合いや、乗馬の体験を行う。	1回	一般及び親子 20名	11月12日
8	ミニ門松作り	門松の由来等を説明し、正月飾りのミニ門松を作る。	1回	一般及び親子 20名	12月18日
9	野鳥観察	多くの水鳥が飛来してくる一ツ瀬川河口の土地性を生かし、講師指導のもと野鳥を観察する。	1回	一般及び親子 30名	3月5日

4 イベント事業

イベント名	内 容	期 日
(仮) 写真撮影会	城跡や施設、及び周囲の自然を中心とした撮影会を講師指導のもと実施する。	5月28日
佐土原花しょうぶ祭り	鶴松館裏手にある花しょうぶ園の開花に合わせ、地域づくり協議会との共催で花しょうぶ観賞のためのイベントを実施する。	6月4日 ～5日
神代独楽回し大会	地元に古くから伝わる伝統工芸品の「神代独楽」を使い、子どもと大人の2部門で独楽を回す時間を競う。	1月7日

5 その他

(1) 資料収集・調査研究

古文書史料や文化財の写真収集・調査研究を行い資料の充実を図る。

(2) 出前事業・講座

学芸員や学習指導員により、地域や各学校に出向いて歴史講座等を年間通じて実施する。

(3) 他館との連携

協会所属の各館の事業には積極的に応援していき、当館も講師など必要な場合はお願いしていく。(各館イベントの応援・史資料の借用・音楽会等の協力など)

(4) 年報・研究紀要の発行

みやざき歴史文化館・宮崎市佐土原歴史資料館・宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館の平成28年度事業概要及び、調査研究成果をまとめた「宮崎市歴史資料館年報及び研究紀要」を発行する。

(5) 広報の充実

ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービスを有効活用し来館者増に努める。
また、地域づくり協議会等とも連携をとり広報等に努めていく。

(6) 宮崎市城の駅(いろは館)との協働

5月の連休時などには、子ども達をメインにしたイベント等を実施し、当館といろは館の認知度を高め相乗効果を図る。

■宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館

1 展示事業

(1) 常設展示

高岡地区の考古・歴史、民俗・民俗芸能に関する資料を展示し、楽しく学びながら歴史や文化に対する関心と理解を深める。

(2) 企画展示

高岡地区の歴史・文化に関連する資料を収集、展示する。

No.	企画展示名	内 容	期 日
1	【新規】企画展① 「たかおか草花さんぽ展」	高岡の草花の見ごろやスポットの紹介、草花の活用方法や人とのかわりの歴史民俗資料を紹介する。さらに端午の節句に焦点を当て、よもぎを使っただんご作りなどワークショップを実施する。	4月23日 ～5月22日
2	【新規】企画展② 「回想、たかおか～あふれる思い出～展」	高岡を知る機会と捉え高岡在住の方には懐かしさとともに郷土愛を再認識できるような地域に密着した博物館だからでできる高岡の古い記録(写真)を広く公開する。	6月4日 ～7月3日
3	【新規】企画展③ 「見せます！出します！天ヶ城蔵出し展」	高岡町域から寄贈、寄託していただいた未公開も含め、多くの収蔵品があり、ジャンルを問わず、できる限りの資料を公開し、地域に密着した親しみやすい博物館としての役割を果たす。	7月23日 ～9月22日
4	【新規】企画展④ 「なつかしのお菓子展」	昔の懐かしい資料の展示とともに回想法事業の周知、理解につなげるため、展示に合わせて家庭で作れる懐かしいおやつ作りなどのワークショップを実施する。また、郷土の偉人、高木兼寛を顕彰する一環として海軍カレーの調理、試食会を実施する。	10月15日 ～11月23日
5	企画展⑤ 昔の道具展	小学校の社会科学習や高齢者の回想法に資することを目的とし、当館所蔵の民具を展示する。また、この期間に回想法を意識した懐かしい真空管アンプによるレコード音楽鑑賞会を実施する。(授業支援事業と連動)	12月10日 ～2月19日

2 講座事業

No.	講座名	内 容	回数	定 員
1	古文書講座	初級程度の古文書の解説を行う。	6回	各10名
2	天ヶ城歴史文化講座①	高岡町域に関する歴史講演会及び山城等の散策を行う。	5回	各30名
3	天ヶ城歴史文化講座②	木城、高鍋、川南方面の史跡めぐりを行う。	1回	15名

3 体験学習

昔から行われてきた人々の暮らしと関連した制作体験を親子対象に実施する。

No.	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	期 日
1	竹や草木の葉で遊ぼう	当館周辺にある竹などの植物を使って、造形遊びを行う。	1回	子どもと保護者 30名	5月1日
2	弓矢づくり	自然素材である竹を利用して弓矢を作り、的当て遊びをする。	1回	子どもと保護者 30名	6月19日
3	竹の水鉄砲づくり	竹で水鉄砲を作って遊ぶ。	1回	子どもと保護者 30名	7月31日
4	ゴム動力自動車づくり	ゴム動力自動車を作って動かして遊ぶ。	1回	小学生と保護者 30名	8月21日
5	草木染めをしよう	身近な植物を使って、布を染める。	1回	子どもから一般 30名	9月18日
6	お芋掘り	芋掘り体験を行う。	1回	子どもと保護者 40名	10月23日
7	凧づくり	身近な材料で凧を作って凧揚げをして遊ぶ。	1回	子どもと保護者 30名	11月13日
8	ミニ門松づくり	正月に合わせて玄関に飾るミニ門松を作る。	1回	子どもと保護者 30名	12月18日
9	二見家かまど炊飯	昔の人々が日常生活で使用していた炊飯道具でご飯を炊く。	1回	小学生と保護者 30名	2月19日

4 イベント事業

イベント名	内 容	期 日
秋はしっとり天ヶ城	当館の庭園を利用して、野点、神楽を行うとともに、クイズラリー、紙芝居、縁日コーナーなど子ども向けプログラムを設定し、来館を促すとともに館の周知を図る。	11月23日

5 授業支援事業

授業支援名	内 容	時 期
むかしの道具たち	要請のあった小学校へ、当館所蔵の昔の道具（民具）を持参し、授業支援を行う。	12月8日 ～2月17日

6 その他

(1) 資料収集・調査研究

古文書史料や文化財の写真収集・調査研究を行い、資料の充実を図る。

(2) 季刊広報紙の配布

当館の事業紹介・講座参加者募集など行うため、高岡地区自治会あての回覧紙として、年

4回「天ヶ城だより」を配布する。

(3) 他館との連携

宮崎科学技術館、大淀川学習館などと科学・歴史・自然についての相互理解を深め連携を図る。また、歴史3館内での連携により横断的に業務を推進するとともに協力、連携を図る。

(4) 年報・研究紀要の発行

みやざき歴史文化館・宮崎市佐土原歴史資料館・宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館の平成28年度事業概要及び、調査研究成果をまとめた「宮崎市歴史資料館年報及び研究紀要」を発行する。

(5) 広報の充実

ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービスを有効活用し来館者増加に努める。

■大淀川学習館

基本方針

当館は、宮崎市制70周年記念事業により、大淀川浄化活動及び大淀川学習のシンボリックな施設として、次世代を担う子どもたちを中心に、身近にある自然を実際に見て・触れて・体験し、大淀川や環境問題について主体的に学ぶことを通して、大淀川の自然や水資源を大切にする心や郷土を愛する心を培うことを目指して設置された。

開館以来、設置趣旨を踏まえ、施設・設備の効果を最大限に発揮できるよう管理運営に努め、多くの方に利用頂いているが、近年では、身体に障がいがある方や高齢の方等の利用も増え、利用者の幅も更に広がってきている。

より多くの方々に愛され、活用される施設となるよう、以下の3つの基本方針のもと、利用者の多様なニーズを踏まえた管理運営に今後も努めていく。

〈基本方針1〉 明日を担う子どもたちに、大淀川の自然体験などを通して、河川環境に対する意識の啓発を図るとともに、郷土を愛する心を培う。

〈基本方針2〉 地域に愛され、宮崎の人づくり・まちづくりに貢献する。

〈基本方針3〉 関係法令を遵守し、利用者に公平・公正なサービスを提供する。

事業概要

1 展示事業

常設展示の維持・管理に努めるとともに、利用者が最良の状態で活用できるよう、季節や学校での学習内容に応じた展示運営を行う。また、当館の設置目的を達成するために、環境保護に関する明確なメッセージを発信する企画展示や作品展示等の工夫・改善に努め、学習機能の充実に努める。

2 学校対応事業

学校や保育所等の教育・保育課程に沿った支援や、学校教育及び社会教育に係る指導者に対する支援を行い、教育効果の向上や、指導者の技術の向上に資する。

3 団体対応事業

学校や保育所等の教育関係以外の団体が、河川環境学習を目的とした活動を行う際に、当館が支援を行い、河川浄化等についての啓発を行う。

4 教室事業

各種の実験・工作や、観察・採集、大淀川での体験活動等を通して、大淀川流域の環境やそこに生息する動植物について参加者の興味・関心を高め、ニーズにあった事業の実施に努める。

5 イベント事業

各種イベントの内容や実施時期など、参加者の現状に即して工夫・改善を図るとともに、大淀川の環境や動植物に接する場を提供し、当館の利用促進に努める。

6 その他

マスコミ等への情報提供、ホームページ、ブログ、フェイスブック等を通して、大淀川流域の自然に関する情報の提供に努める。

1 展示事業

(1) 常設展示

大淀川をはじめとする河川及びその流域の自然、文化、歴史などについて、見て・触れて・楽しみながら学ぶことのできる展示を行い、河川環境に対する興味・関心を高める。

No.	展示名	内 容
1	テーマ展示	来館者が常に新鮮な気持ちで展示物を見学できるように、展示機器のメンテナンスと展示内容の工夫・改善に努め、定期的に展示物の入替を行う。
2	生体展示	大淀川水系に見られる魚、水生小動物、昆虫等の生体展示を通して、生物の生態や生息環境について興味・関心を高めるとともに理解を深める。また、動植物の飼育・栽培技術の確立と計画的な展示に努め、生体の種類の確保と補充を図る。
		自然楽習園 小川が流れ、外気とほぼ同温度の施設内で、チョウを中心とした季節に沿った身近な動植物の生体展示を通して、自然理解のための学習の場とする。チョウについては、受託者と連携を図り、個体数や種類の維持、増進に努める。
		生体展示ホール 大淀川水系で見られるアカメやヤマメなどの魚、水生小動物等の生体を大型・小型・円型など様々な形の水槽で展示する。生物の生態や生息環境についての理解を深められるように、説明活動や掲示物についても工夫する。
		ホタル展示室 環境保全課・ホタル保存会の支援のもと、ホタルの生態や生息環境について理解を深められるよう、展示方法や飼育方法の改良を進める。
3	コーナー展示	各コーナーの展示物の計画的運用を図り、ミニギャラリーコーナーをはじめとする施設内の壁面やスペース等を活用して、展示の充実を図る。また、館の教室事業等で作成した作品や優秀な個人の研究物等も展示し、市民の情報発信の場としても活用する。
4	里山の楽校	関係各課と連携して、樹木の育成や維持管理など、昆虫等の小動物や植物と触れ合うことのできる環境を整備するとともに、大淀川水辺の楽校との連携を図る。
5	大淀川水辺の楽校	宮崎市公園緑地課の管理する「大淀川水辺の楽校」を有効活用し、本館や里山の楽校と併せて屋内外の総合的な体験学習の場として事業を展開する。

(2) 企画展示

年間を通して、当館の設置趣旨に沿った企画展示や作品展示を開催することを通して、大淀川の動植物、文化、環境についての興味・関心を高める。

No.	企画展示名	内 容	実施時期
1	春の特別企画展 「水の生き物と仲良くなろう！ ザリガニ展」	子どもたちに人気の「アメリカザリガニ」にタッチプールで触れたり、ザリガニ釣りを体験したりできる展示コーナーを準備する。さらに、その生態や在来種と外来種との関係についての展示パネルも設置し、水資源や大淀川流域の自然を大切にしようとする意識を育てる。	4月 9日（土） ～6月12日（日） 【55日間】

No.	企画展示名	内 容	実施時期
2	夏の特別企画展 「森の生き物と仲良くなろう！ カブトムシ・クワガタムシ展」	大淀川流域や世界で見られるカブトムシやクワガタムシを自然に近い状態で観察することを通して、生態や生息環境についての理解を深め昆虫への興味・関心を高める。	7月 2日（土） ～8月31日（水） 【58日間】
3	秋の特別企画展 「水の生き物と仲良くなろう！ ドクターフィッシュ体験」	人の角質を食べてくれる魚「ドクターフィッシュ」を多数用意し、タッチプールで触れる体験を通して、水の生き物と親しみ、自然を大切にしようとする意識を育てる。	9月10日（土） ～10月16日（日） 【31日間】
4	作品展示「第16回大淀川流域の写真展」	大淀川流域の動植物・風景等の写真を募集・展示することにより、流域の動植物や自然への関心を高め、自然を大切にしようとする心を育てる。	9月10日（土） ～10月 2日（日） 【19日間】
5	秋の企画展「よく見てみよう！ちよっぴりこわい生きもの展」	一般的に怖がられやすい生きものの展示を通して、正しい付き合い方を学ぶとともに、その存在価値について考える機会にする。	9月24日（土） ～10月30日（日） 【32日間】
6	作品展示「第22回大淀川流域の動植物画コンクール」	大淀川流域に生息する鳥・魚・昆虫等の動物や植物の精密画を募集・展示することにより、大淀川流域の動植物に対する関心を高め、動植物を正確に観察する力を育てる。	10月 8日（土） ～11月23日（水） 【39日間】
7	秋の企画展「でっかくまなぼう小さな生きもの展」	昆虫や植物などの体のつくりをミクロの視点から見つめ、緻密さや美しさを伝えるとともに、自然を生き抜くための工夫なども紹介する。	10月22日（土） ～11月27日（日） 【30日間】
8	作品展示「第12回小・中学校川の学習展」	小・中学生の夏休み自由研究等でまとめた、河川に関する学習成果を展示し、広く流域住民に知らせることを通して、大淀川流域の環境に対する興味・関心を高め、大淀川の自然や水資源を大切にしようとする心を育てる。	12月 1日（木） ～1月 9日（月） 【30日間】
9	冬の企画展「カラー魚拓への誘い」	カラー魚拓の展示を通して魚の形や色、模様などの特徴を捉え、魚類への興味・関心を高める。	12月 3日（土） ～1月 9日（月） 【28日間】
10	冬の企画展「幸せかもんカメカメ展」	新年を迎えるに当たって古来より縁起の良い生き物とされるカメを展示し、運玉コーナーやふれあいイベントなどを行うことを通して、水の生き物と親しみ、自然を大切にしようとする意識を育てる。	1月 4日（水） ～1月29日（日） 【23日間】
11	冬の企画展「県産材積み木で遊ぼう！」	宮崎県産材を使った積み木4000個での自由な作品づくりを通して創造力を養うとともに、地域の川を育む森林や樹木への興味・関心を高める。	1月14日（土） ～3月26日（日） 【62日間】

No.	企画展示名	内 容	実施時期
12	【新規】冬の企画展「大淀川のお散歩パネル展」	大淀川流域の様々な風景等を流れに沿って散歩する形でパネル化し、大淀川及び周辺地域への関心を高める。	1月31日（火） ～3月26日（日） 【48日間】
13	春の企画展「春一番！ひな山展」	大淀川流域の綾町で育まれた「ひな山」をエントランスホールに展示することを通して、大淀川流域の民俗文化への関心を高める。	2月 4日（土） ～3月 5日（日） 【26日間】

（３）川のシアター

オリジナルの３Ｄハイビジョン映像の上映を通して、大淀川の自然や環境への学習意欲を喚起するとともに、河川浄化に関する意欲を高める。

No.	上映名	内 容	実施時期
1	定常上映	平日は５回、休日６回、定時に大淀川流域の自然に関する３Ｄハイビジョン番組の上映を行う。	通年
2	団体上映	団体の視聴目的に応じた番組を選択し、大淀川の自然や環境への学習意欲を喚起するとともに、河川浄化に関する意欲を高める。	随時
3	特別上映	夏休みを中心に、家族・子ども向けの既成の３Ｄハイビジョン映像の上映を通して、自然や環境への学習意欲を喚起するとともに、当館の利用促進に努める。	夏休み期間

（４）展示解説

No.	講座名	内 容	実施時期
1	ミニ講座	河川、自然、環境に関する内容について、館職員が説明・講話を行うことを通して、自然や環境に関する興味・関心を高める。館職員がもつ様々な特技を生かすことで講座の充実に努める。	通年 【24回】
2	さかなたちの食事タイム	大型水槽等の魚が餌を食べる様子を公開することで、魚の生態についてのより深い理解を促すとともに、大淀川に生息する魚への興味・関心を高める。	通年 【100回】

（５）講演会

河川や自然、環境に関する内容について、専門家を招き講演会を実施することを通して、河川や自然、環境に関する興味・関心を高める。

２ 学校対応事業

（１）授業支援

学校や保育所等の授業や保育の協力要請に対して、随時柔軟に対応し、教育効果の向上を図る。

（２）指導者支援

学校教育及び社会教育において、小・中学生の指導に当たる者を対象とし、その指導力の向上を図る。教員研修の一環として宮崎市教育情報研修センターとの連携を推進する。

No.	講座名	内 容	定員	実施時期
1	授業力向上チョウ講座 (実験・工作室)	チョウの生態や育て方など、指導に使える情報や素材を提供する。	30人	4月22日(金)
2	授業力向上メダカ講座 (実験・工作室)	メダカの生態や育て方など、指導に使える情報や素材を提供する。	15人	6月 3日(金)
3	授業力向上地層講座 (実験・工作室)	宮崎の地層のつくりなど、指導に使える情報や素材を提供する。 (宮崎市教育情報研修センターと連携)	30人	6月21日(火)

(3) 子ども会・PTA支援

小・中学校の児童生徒、保護者を対象とし、講義や観察、工作を通して、動植物や環境に対する関心を高める。

(4) 夏休み期間中学習支援

小・中学生の夏休み中の学習支援活動として、「夏休み自由研究相談会」を実施する。実施に当たっては、生体との関わりを重視し、科学を通じた豊かな体験活動となるよう支援する。

3 団体対応事業

社会教育関係団体や行政機関等、学校以外の団体から河川環境保全を目的とした活動の要請がある場合、当館が出前形式で活動支援を行い、環境や生きものについての学習を行う。

4 教室事業

(1) 環境教室

大淀川の自然環境や水資源について、観察、実験、見学等を通して理解を深める。

No.	教室名（開催場所）	内 容	定員	実施時期
1	川の生き物で水質環境調査 (深年川 法華嶽)	水生生物を指標とする水質調査を行うことを通して、水環境の保全に対する理解を深める。	20人	4月24日(日)
2	ホタル環境教室 (山崎地区)	実際にホタルの成虫を観察することを通して、ホタルの生態を理解する。	40人	5月14日(土)
3	【新規】私たちのくらしと水の環境学習 (上下水道局施設)	宮崎市上下水道局と連携し、関連施設を見学することを通して、水の大切さを理解する。	20組	7月26日(火)
4	大淀川水質環境パックテスト (実験・工作室)	パックテストを使って水質検査をすることを通して、大淀川の水質について理解する。	20組	8月 6日(土)

No.	教室名（開催場所）	内 容	定員	実施時期
5	大淀川源流から巡る自然・文化・環境学習 （曾於市、都城市、宮崎市）	大淀川源流や宮崎の名所地層を観察することを通して、大淀川と宮崎の歴史や文化、大地の成り立ち等について総合的に学ぶ。	20人	10月8日（土）

（2）飼育・観察教室

大淀川流域の動植物の観察、採集、飼育を通して、大淀川や周辺環境についての興味・関心を高める。

No.	教室名（開催場所）	内 容	定員	実施時期
1	メダカの飼育観察教室 （実験・工作室）	メダカの飼育の仕方を学習し、卵の観察をすることを通して、身近な魚への興味を高める。	20組	6月4日（土）
2	バスで行くオオムラサキ野外観察会 （須木地区ほか）	宮崎昆虫同好会と連携し、小林市を中心に大淀川流域に生息するオオムラサキを観察する。	20人	6月25日（土）
3	明かりに集まる昆虫観察会（里山の楽校）	里山の楽校において、ライトトラップに集まった昆虫を観察する。	30組	7月9日（土）
4	カブトムシ・クワガタムシの飼育・観察教室 （実験・工作室）	カブトムシ・クワガタムシの飼育の仕方を学習し、その生態を観察することを通して、身近な昆虫への興味を高める。	40人	7月18日（月）
5	水辺の生きもの観察会 （大淀川水辺の楽校）	水辺に集まる冬鳥や昆虫の観察を行うことを通して、身近な動物への興味・関心を高める。	20組	2月26日（日）

（3）活動教室

大淀川での体験活動や大淀川流域の素材を活用する活動を通して、大淀川や流域の自然環境に親しむ。

No.	教室名（開催場所）	内 容	定員	実施時期
1	食べられる野草を探してみよう！ （里山の楽校、大淀川水辺の楽校）	水辺の楽校にある食用、薬効のある植物を採集することを通して、身近な野草への興味・関心を高める。	20組	4月3日（日）
2	ミツバチのハチミツをみつめよう！ （里山の楽校）	巣箱内のハチの様子を観察しハチミツ採取を行うことを通して身近な昆虫への興味を高める。	20組	4月17日（日）
3	アユの稚魚を放流しよう！ （柳瀬橋下河原）	アユの稚魚を大淀川に放流する体験を通して、大淀川の魚や環境への興味・関心を高める。	20組	5月8日（日）

No.	教室名（開催場所）	内 容	定員	実施時期
4	大淀川河口で釣りをしよう！ （大淀川右岸河口）	簡単な投げ釣りの方法を学び、釣りをを行うことを通して、大淀川やそこにすむ魚に親しむ。	20組	5月22日（日）
5	大淀川でカヌーをしよう！ （大淀川天満橋下流左岸）	小学校4年生以上を対象に、大淀川でカヌー体験をすることを通して、大淀川に親しむ。	20人	8月27日（土）
6	ハーブティーを楽しもう！ （里山の楽校杉の家）	ハーブの育て方や利用方法、楽しみ方を体験することを通して、植物の効用について学ぶ。	20人	10月23日（日）
7	シイタケの種駒打ちをしよう！ （里山の楽校）	シイタケの栽培を通して、川と人との関わりが深い里山に親しむ。	20組	3月 5日（日）

（４）ものづくり教室

動植物や自然保護に関係するものづくり活動を通して、大淀川や流域の自然環境に親しむとともに、創造する力・工夫する力の育成に寄与する。

No.	教室名（開催場所）	内 容	定員	実施時期
1	伝統あるホタルかごを作ろう！ （実験・工作室）	麦わらを使った昔ながらのホタルかごを編むことを通して、ホタルの生育環境を理解する。	20組	5月 7日（土）
2	昆虫標本を作ろう！ （実験・工作室）	採集したチョウやトンボを使って標本を作ることを通して、流域に生息する昆虫に親しむ。	10組	6月19日（日）
3	石で工作しよう！ （実験・工作室）	大淀川の石を使っていろいろなオブジェを作ることを通して、大淀川の岩石に親しむ。	20組	7月24日（日）
4	植物標本を作ろう！ （実験・工作室）	植物標本の作り方を学習し、実際に標本作製することを通して、身近な植物への興味を高める。	20組	7月31日（日）
5	貝がらで工作しよう！ （実験・工作室）	貝殻を使っていろいろなオブジェを作ることを通して、大淀川河口に生息する生物に親しむ。	20組	8月14日（日）
6	植物でウェルカムボードを作ろう！ （実験・工作室）	ウェルカムボードの作製を通して、様々な植物についての興味・関心を高める。	10組	10月 2日（日）
7	野鳥の巣箱を作ろう！ （実験・工作室）	野鳥の巣箱を作ることを通して、野鳥の生態や森林保護の必要性を理解する。	10組	11月13日（日）
8	牛乳パックで年賀はがきを作ろう！ （実験・工作室）	牛乳パックからはがきを作ることを通して、リサイクルや森林の保護の重要性を理解する。	20組	11月27日（日）

No.	教室名（開催場所）	内 容	定員	実施時期
9	まっぼっくりでクリスマスツリーを作ろう！ （実験・工作室）	まっぼっくりを使って、季節感豊かなクリスマスツリーを作る。	20組	12月 4日（日）
10	カラー魚拓を制作しよう！ （実験・工作室）	カラー魚拓を制作することを通して、魚の体のつくりなどを観察し、大淀川にすむ魚に親しむ。	10人	12月11日（日）
11	ミツロウでオリジナルキャンドルを作ろう！ （実験・工作室）	ミツバチの巣から採ったミツロウを用いて、自分だけのオリジナルキャンドルを作る。	10組	12月18日（日）
12	ペットボトルで工作しよう！ （実験・工作室）	ペットボトルを使ったものづくりを行うことを通して、再利用の必要性を理解する。	20組	2月 5日（日）

（5）園児教室

宮崎市及び周辺2町の幼稚園、保育所等の園児を対象に、動植物の観察やふれあい体験、工作活動を通して生き物に対する関心を高める。（11月～2月の期間に26回開催）

5 イベント事業

（1）季節のイベント

連休や学校の休業日を利用して、学習館の利用を促進するとともに、自然に親しみ、水環境問題解決のための活動を行う。

	イベント名	内 容	対象・定員	実施時期
春	グリーンアドベンチャー （水辺の楽校）	植物に関するクイズに答えながら、春の自然観察を楽しむ。	全来館者 先着100人	4月10日（日）
春	ザリガニ釣りに挑戦 （本館池周辺）	春の企画展に合わせて、特設の池でザリガニ釣りを楽しむ。	小学生以下 先着100人	4月29日（金）
春	ミニつり大会 （本館池周辺）	特設の池で、発泡スチロールでできた魚を釣って楽しむ。	小学生以下 先着100人	5月 5日（木）
夏	カブトムシ・クワガタムシのクイズ大会 （レクチャー室）	カブトムシ・クワガタムシに関するクイズを楽しむ。	全来館者 先着100人	7月17日（日）
夏	カブトムシ・クワガタムシのすもう大会 （レクチャー室）	飼育しているカブトムシ・クワガタムシを持ち寄り、すもうを楽しむ。	全来館者 先着100人	8月 7日（日）
夏	メダカすくい大会 （本館池周辺）	金魚すくいの要領で、メダカをすくって楽しむ。	小学生以下 先着100人	9月18日（日）
秋	アユのつかみどり大会 （本館池周辺）	特設の池に泳ぐアユをつかんで楽しむ。	小学生以下 先着100人	10月10日（月）

	イベント名	内 容	対象・定員	実施時期
秋	大淀川ウォークラリー (大淀川河川敷)	大淀川河川敷で、クイズやごみ拾いをしながらウォークラリーを楽しむ。	全来館者 先着 50 人	10月16日(日)
秋	【新規】水辺の楽校紙飛行機大会 (大淀川水辺の楽校)	家族等と一緒に作った紙飛行機を水辺の楽校の自然の中で飛ばして楽しむ。	全来館者 先着 30 組	10月30日(日)
冬	ふれあいもちつき大会 (本館池周辺)	正月を迎えるにあたり、日本の伝統文化であるもちつきを楽しむ。	全来館者 先着 100 人	12月24日(土)
冬	昆虫輪投げ大会 (レクチャー室)	チーム対抗で、昆虫が描かれた的を狙い輪投げを楽しむ。	全来館者 先着 100 人	1月 8日(日)
冬	大淀川学習館検定 (レクチャー室)	大淀川や大淀川学習館に関する問題に挑戦する。	小学生以上 先着 40 人	2月19日(日)

(2) ふれあいウィークエンド

週末休み等を中心に簡単な工作活動等を行い、自然や文化に対する興味・関心を高める。

No.	イベント名	内 容	定員	実施時期
1	紙コップで工作しよう	紙コップを使っておもちゃや人形などを作って遊ぶ。	40人	4月 9日(土) 9月17日(土)
2	ミニ鯉のぼりを作ろう	紙を使って小さな鯉のぼりの飾りを作る。	40人	4月23日(土)
3	新聞紙でかぶと飾りを作ろう	新聞紙を使ってかぶと飾りを作る。	40人	4月30日(土) 5月 3日(火)
4	葉っぱで遊ぼう	里山に自生している植物の葉を使って、おもちゃを作る。	40人	5月14日(土) 11月12日(土)
5	季節の花で押し花かざりを作ろう	里山の楽校に自生している植物の花を使って、押し花かざりを作る。	40人	5月21日(土)
6	針金アメンボを浮かせよう	針金を使って水に浮くアメンボを作る。	40人	5月28日(土) 7月 9日(土)
7	タネ模型を飛ばそう	紙を使って、風で運ばれる種の模型を作り、飛ばす。	40人	6月18日(土) 8月20日(土)
8	七夕飾りを作ろう	紙を使って小さな七夕飾りを作る。	40人	7月 3日(日)
9	バランストンボを作ろう	紙を使って、トンボの形をしたやじろべえを作る。	40人	6月 5日(日) 3月18日(土)
10	【新規】カブトムシを捕まえて育ててみよう	カブトムシの捕まえ方や飼育の仕方などを学ぶ。	40人	7月30日(土)
11	【新規】吹いてまわすコマを作ろう	厚紙を使って、上から吹くとクルクル回るコマを作る。	40人	9月 3日(土)

No.	イベント名	内容	定員	実施時期
12	木の実でコマを作ろう	どんぐりの実を使ってコマを作る。	40人	10月15日(土) 10月29日(土)
13	お正月飾りを作ろう	紙を使って小さなお正月飾りを作る。	40人	12月17日(土)
14	【新規】カブトムシの幼虫を育てよう	冬を越しているカブトムシの幼虫の育て方を学ぶ。	40人	1月 7日(土)
15	かんたん凧作り	紙と竹ひごを使って簡単な凧を作る。	40人	1月21日(土)
16	ハイドロカルチャーにチャレンジ	自宅で水耕栽培できるハイドロカルチャーを作る。	40人	2月18日(土)
17	【新規】おりがみで水族館をつくろう	魚の形に折った折り紙を箱の中に吊るしてミニ水族館をつくる。	40人	3月 4日(土)

6 その他

(1) 誰もが利用しやすい施設づくり

来館する人数や回数が増加している子育て世代や高齢者、障がい者が快適に利用できるように、施設のハード面を整備する。また、ソフト面においても、例えば特別支援学校の児童生徒に対応できる学習プログラムの構築等、学びのユニバーサルデザイン化を推進する。

(2) 他館との連携

宮崎科学技術館、宮崎市歴史資料館などと連携して館を横断する事業を推進する。

(3) 広報の充実

学校や保育所等施設、高齢者福祉施設等に企画展示のポスター・チラシ等の案内を送る。また、ホームページを充実するとともに、ブログ・フェイスブック等の更新を常時行い、新鮮な情報の提供に努め、館周辺を通る方々が情報を得られるよう、看板や掲示板を設置する。

(4) 各種関係団体やボランティア等との連携

開館当初からの協力団体である宮崎自然愛好会やホタル保存会を始め、宮崎内水面漁業協同組合、宮崎市カヌー協会など多くの関係団体に加え、国土交通省や県、市などの関係機関との連携を継続して推進する。また、動植物に関して高い見識を有する人材やボランティア等の積極的に活用した事業拡充に努める。

■宮崎市民プラザ

基本方針

1 管理運営について

平成28年度は、当協会が宮崎市民プラザの指定管理者として再指定を受けて3年目となり、折り返しの年度となる。開館以来、当協会が管理運営を行ってきた経験とノウハウを十分に生かしながら、人材の活用を図るとともに、コンプライアンスの強化、公平・公正な運営といった公益財団法人だからこそできるハードとソフトの両面を充実させ、関係法令等を遵守した管理運営を行うため、以下のとおり基本方針を定める。

- 〈基本方針1〉 公平・公正な管理運営に努める。
- 〈基本方針2〉 満足度の高い管理運営を行う。
- 〈基本方針3〉 安心・安全で効率的な管理運営を行う。

2 自主事業について

宮崎市民プラザを文化芸術活動の拠点の一つとして機能させ、宮崎市文化振興計画の基本目標である「市民が主役の文化芸術活動の推進」及び「特性を活かした地域文化の振興」を実現するため、以下のとおり取組方針を定める。

- 〈取組方針1〉市民が主役の「宮崎ならではの」文化芸術公演を創造する。【創造・制作事業】
- 〈取組方針2〉市民が文化芸術と出会うきっかけづくりに取り組む。【普及・育成事業】
- 〈取組方針3〉市民に優れた文化芸術公演の鑑賞機会を提供する。【鑑賞事業】

事業概要

1 貸館事業

利用者サービス向上による利用者増加対策や、利用者が安全で快適に利用できる施設運営を行っていくため、多目的に利用できるキャスター付き展示パネルの導入やタブレット端末の導入による利便性向上、そして、ベルトパーテーションの導入や4階ギャラリーのスライディングウォール等の保守点検業務の委託による安全性の向上に取り組む。

2 自主事業

3つの取組方針のもと7事業を展開する。新規事業として、ヴァイオリニストの神尾真由子さんによるリサイタルや宮崎出身の本田誠人さんプロデュースによる演劇公演に取り組むとともに、市民プラザコンサートのこれまでの公演内容をさらに魅力あるものに見直し、公益目的事業の更なる推進を図る。また、「子どものための文化芸術体験プログラム」及び「おでかけアートプログラム」で普及育成を図るアウトリーチ事業にも取り組み、地域活性化へ貢献する。

○自主事業

No	事業名	実施日	会場
1	市民プラザコンサート 【創造・制作事業】	8月28日(日)	オルブライトホール
2	市民プラザ寄席 【鑑賞事業】	10月2日(日)	オルブライトホール
3	宮崎・音のスケッチブック ～秋のヒーリングコンサート～ 【創造・制作事業】	10月23日(日)	橘公園噴水広場
4	【新規】 神尾真由子&ミロスラフ・クルティシェフ デュオ・リサイタル 【鑑賞事業】	10月26日(水)	オルブライトホール
5	【新規】 本田誠人プロデュース演劇公演 【創造・制作事業】	2月25日(土) 26日(日)	オルブライトホール
6	【隔年】 子どものための文化芸術体験プログラム 【普及・育成事業】	年2回	小学校、幼稚園
7	【隔年】 おでかけアートプログラム 【普及・育成事業】	年2回	病院、福祉施設等

1 市民プラザコンサート 【創造・制作事業】

プロのアーティストと宮崎の演奏家やアーティスト等が共演するコンサート。プロアーティストの魅力ある公演による市民文化の振興と、宮崎のアーティスト等のレベル向上を図る。

2 市民プラザ寄席 【鑑賞事業】

宮崎出身で落語家の桂 歌春さんがプロデュースする寄席。人気落語家をゲストに招き、桂歌春さんとの二人会として開催。落語を通して、古典芸能への興味・関心を高める。

3 宮崎・音のスケッチブック～秋のヒーリングコンサート～ 【創造・制作事業】

幅広いジャンルの音楽を提供する屋外コンサート。宮崎を中心に活動・活躍している演奏家やアーティスト等の発表機会を創出する。

※雨天時は、オルブライトホールで開催

4 神尾真由子&ミロスラフ・クルティシェフ デュオ・リサイタル 【鑑賞事業】

ザハール・ブロンに師事し、2007年チャイコフスキー国際コンクールで優勝したヴァイオリニストの神尾真由子さんと、同コンクールで最高位となったピアニストのミロスラフ・クルティシェフによるデュオ・リサイタル。芸術性の高い魅力ある公演を提供し、市民文化の振興を図る。

5 本田誠人プロデュース演劇公演 【創造・制作事業】

宮崎出身の脚本・演出家で俳優の本田誠人さんが宮崎を舞台に脚本を書き下ろし、宮崎の役者が演じる“地産地演”公演。宮崎を舞台にした公演を制作することで、地域の魅力を発信する。

6 子どものための文化芸術体験プログラム 【普及・育成事業】

演奏家や文化芸術団体等を幼稚園や小学校へ派遣し、普段触れることの少ない文化芸術プログラムを鑑賞および体験する機会を提供する。

7 おでかけアートプログラム 【普及・育成事業】

演奏家や文化芸術団体等を福祉施設や病院等へ派遣し、高齢者や障がい者等に対し普段触れる機会の少ない文化芸術プログラムを鑑賞する機会を提供する。